

令和2年 第3回定例会

苫小牧港管理組合議会会議録

令和2年10月28日開催

苫 小 牧 港 管 理 組 合 議 会

令和2年 第3回定例会
苫小牧港管理組合議会

令和2年10月28日（水曜日） 午後1時32分開会

○本日の会議に付議した事件

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 諸般の報告について

日程第4 報告第1号について

報告第1号 公営企業に係る資金不足比率について

日程第5 議案第1号から第2号について

議案第1号 令和元年度苫小牧港管理組合各会計歳入歳出決算の認定について

議案第2号 令和2年度苫小牧港管理組合一般会計補正予算（第1号）について

日程第6 一般質問

日程第7 議員提案第1号について

議員提案第1号 苫小牧港管理組合議会議員の派遣について

○出席議員（8人）

1番 赤根 広介 君

5番 沖田 清志 君

2番 池田 謙次 君

6番 神戸 典臣 君

3番 岩田 薫 君

8番 富岡 隆 君

4番 太田 憲之 君

9番 牧田 俊之 君

○説明員出席者

管 理 者

岩倉 博文 君

専任副管理者

佐々木 秀郎 君

副 管 理 者

柏木 文彦 君

副 管 理 者

福原 功 君

総 務 部 長

小名 智明 君

施 設 部 長

道脇 正則 君

港湾政策室長

三田 弘志 君

政策推進課長

山崎 直人 君

総 務 課 長

阿部 保 君

計 画 課 長

京野 勇一 君

施 設 課 長

宇佐見 広 君

業 務 經 營 課 長	白 川 友 秀 君
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	細 谷 則 之 君
総 務 課 長 補 佐	佐 藤 敦 史 君
施 設 課 長 補 佐	小 亀 巧 君

監 査 委 員	佐 藤 敏 君
監 査 委 員	小 山 征 三 君
監 査 委 員 事 務 局 長	桜 田 齋 君
監 査 委 員 事 務 局 主 幹	鍛 冶 貴 宏 君
監 査 委 員 事 務 局 副 主 幹	長 崎 洋 子 君

○事務局職員出席者

事 務 局 長	阿 部 保 君
庶 務 係 長	佐 藤 敦 史 君
議 事 係 長	内 山 隼 典 君
書 記	豊 田 卓 也 君

○開会

○副議長（牧田俊之君） 議長が体調不良のため、代わって職務を行います。

これより本日をもって招集されました令和2年第3回定例会を開会いたします。

○開議

○副議長（牧田俊之君） それでは、本日の会議を開きます。

○会議録署名議員の指名

○副議長（牧田俊之君） 日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において、太田憲之君及び沖田清志君を指名いたします。

○会期の決定

○副議長（牧田俊之君） 日程第2「会期の決定」を議題といたします。

本定例会の会期は、本日1日間といたしたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

○諸般の報告

○副議長（牧田俊之君） 次に、日程第3「諸般の報告」を行います。

監査委員より、令和2年度7月及び8月の現金出納検査の結果並びに令和2年度定期監査及び財政援助団体等監査の結果の報告がありました。

既に配付しております議案等に報告書の写しがございますので、後ほど御覧ください。

○報告第1号 公営企業に係る資金不足比率について

○副議長（牧田俊之君） 次に、日程第4、報告第1号「公営企業に係る資金不足比率について」を議題といたします。

説明を求めます。

総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） 報告第1号「公営企業に係る資金不足比率について」を御説明申し上げます。

議案等の1ページを御覧ください。

これは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づき、令和元年

度苦小牧港管理組合港湾整備事業特別会計の決算に基づく資金不足比率について報告するものでございます。

資金不足比率は、決算年度に係る資金不足額の規模に対する比率を表す指標であり、当該比率が資金不足比率基準である20%以上になった場合は、経営健全化計画を定めることとなります。

港湾整備事業特別会計につきましては、歳出額が歳入額を上回るような資金不足を生じていないため、3ページのとおり資金不足比率は算出されておられません。

以上、報告第1号の公営企業に係る資金不足比率につきまして、7ページにあります監査委員の審査意見を付して御報告申し上げます。

以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） ただいまの説明に関し、御質問等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） 御質問がなければ、本件は終了いたします。

○議案第1号 令和元年度苦小牧港管理組合各会計歳入歳出決算の認定について

○副議長（牧田俊之君） 次に、日程第5、議案第1号「令和元年度苦小牧港管理組合各会計歳入歳出決算の認定について」を議題といたします。

説明を求めます。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者（佐々木秀郎君） 議案第1号「令和元年度苦小牧港管理組合各会計歳入歳出決算の認定」につきまして御説明申し上げます。

これは、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の審査意見をつけて、議会の認定に付するものであります。

初めに、一般会計でございますが、議案等の13ページ、「令和元年度苦小牧港管理組合一般会計歳入歳出決算書」を御覧ください。

歳入決算額は51億9,450万8,655円、歳出決算額は49億9,083万2,272円、歳入歳出の差引残額は2億367万6,383円です。この残額は、翌年度へ繰り越しするものでございます。

次に、28ページを御覧ください。

一般会計の歳入合計についてですが、当初56億2,675万7,000円で予算編成いたしました。補正などによる増額により、最終予算額は58億147万5,000円でございます。

続きまして、36ページを御覧ください。

一般会計の歳出合計についてですが、予算現額58億147万5,000円に対し、支出済額は49億9,083万2,272円、翌年度繰越額として5億7,630万8,000円、不用額は2億3,433万4,728円であり、主なものは、西港社会資本整備事業費の工事請負費

の残などによるものでございます。

次に、港湾整備事業特別会計でございます。

戻りまして、17ページを御覧ください。

歳入決算額、歳出決算額ともに33億1,728万1,435円でございます。

次に、46ページを御覧ください。

特別会計の歳入合計についてですが、当初36億7,968万4,000円で予算編成いたしました。補正などによる増額により、最終予算額は46億5,749万5,000円でございます。

続きまして、52ページを御覧ください。

特別会計の歳出合計についてですが、予算現額46億5,749万5,000円に対し、支出済額は33億1,728万1,435円、不用額は13億4,021万3,565円であり、主なものは、災害復旧費の工事請負費の残などによるものでございます。

以上、議案第1号につきまして御説明申し上げます。

監査委員からの審査意見も踏まえ、今後も財務事務の適正な運用に努めてまいりたいと考えております。

御審議の上、御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○副議長（牧田俊之君） 次に、監査委員から、本決算認定の審査の結果について御報告をいただきます。

監査委員、佐藤 敏君。

○監査委員（佐藤 敏君） 令和元年度苫小牧港管理組合一般会計及び港湾整備事業特別会計の決算につきまして、審査の概要を申し上げます。

議案等の67ページ、苫小牧港管理組合決算審査意見書の審査結果及び意見を御覧願います。

決算に関する書類の「各会計歳入歳出決算書」、「歳入歳出決算事項別明細書」、「実質収支に関する調書」及び「財産に関する調書」は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、また、表示された計数は、証書類と符合し、正確であることを認めております。

次に、各会計の予算の執行及び事務処理につきましては、別に実施した定期監査で一部改善を要するものが見受けられましたが、おおむね適正かつ効率的に執行されております。

なお、各会計における決算状況及び審査意見の詳細につきましては、意見書の内容を御参照いただきたいと思います。

以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） これより質疑に入ります。

ただいまの説明に関し、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） なければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、反対、賛成の討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(牧田俊之君) なければ、これをもって討論を終結いたします。

それでは、議案第1号についてお諮りいたします。

議案第1号を原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(牧田俊之君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

○議案第2号 令和2年度苫小牧港管理組合一般会計補正予算(第1号)について

○副議長(牧田俊之君) 次に、日程第5、議案第2号「令和2年度苫小牧港管理組合一般会計補正予算(第1号)について」を議題といたします。

説明を求めます。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者(佐々木秀郎君) 議案第2号「令和2年度苫小牧港管理組合一般会計補正予算」につきまして御説明申し上げます。

今回の補正につきましては、苫小牧港の利用促進に向けた貨物輸送の実証実験等の取組を行っている苫小牧港利用促進協議会に対し、支援を行うものでございます。

議案等の117ページを御覧ください。

このたびの補正につきましては、歳入歳出予算をそれぞれ1,000万円増額し、総額を56億1,356万6,000円とするものでございます。

なお、この1,000万円につきましては、令和2年3月に民間事業者から当管理組合に対し、苫小牧港の発展、振興等に活用していただきたいと、寄付をいただいたものを財源とするものでございます。

内訳につきまして、「令和2年度苫小牧港管理組合一般会計補正予算に関する説明書」により御説明申し上げます。

125ページを御覧ください。

歳入についてであります。令和元年度決算に伴う繰越金を歳入に組み入れることとし、第7款「繰越金」を増額し、増額見合いの額を第1款「分担金及び負担金」から減額し、歳入合計を1,000万円増額するものでございます。

次に、126ページを御覧ください。

歳出予算についてであります。第2款「総務費」の第1項「西港総務管理費」を1,000万円増額するものでございます。

以上、議案第2号につきまして御説明申し上げます。

御審議の上、御承認賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○副議長（牧田俊之君） これより質疑に入ります。

ただいまの説明に関し、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） なければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、反対、賛成の討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） なければ、これをもって討論を終結いたします。

それでは議案第2号についてお諮りいたします。

議案第2号を原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

○一般質問

○副議長（牧田俊之君） 次に、日程第6「一般質問」の通告が池田謙次君、富岡 隆君からありますので、順次これを許します。

池田謙次君。

○議員（池田謙次君） それでは質問させていただきますけれども、ちょっと、今日マスクがふだんと違いますので、元来ちょっと声が小さいので、ちょっと聞きづらいかもしれませんが。

それでは通告に従いまして、4項目について、1点目は今回のガントリークレーンの故障について、2点目でありますけれども、東港区と勇払マリーナの釣り堀について、3点目は輸出入減について、4点目がRORO船の寄港について、この4点について、ちょっと聞きづらいかもしれませんが質問させていただきます。よろしくお願ひします。

それでは、ガントリークレーンの故障について、ある意味、故障とか事故については、毎回のごとく副管と真剣なるやりとりをさせていただいておりますけれども、まず、今回の早期の点検などのお話をして、そのことが今回は功を奏したのかなと思っておりますけれども、まず、今回の故障について、どの程度の被害が出たのかと。また、他にどのような支障が出てしまったのかと。それと、3つ目には、代替部品というのはストックをされているのだろうと思うのですが、今回もそういう体制であるのかどうか、この3点をまずお聞きをしたい。

続いて、東港区と勇払マリーナの釣り堀についてでございますけれども、これも前回の、毎回の議会である程度触れさせてもらっております。一般紙によりますと、6日には指定書の交付があったり、希望あるものなのかなと大変期待をしているところでございますけれども、前回より具体的に、例えば駐車場の規模であるとか、魚の種類であるとか、具体化した計画の内容をお聞

かせ願いたいと思います。

あわせて、これ大事な地域振興という意味では大変期待をしておるわけでありませけれども、明年のスタートには、ちょっと提案でありますけれども、地元、そして近隣、さらには全道から好きな方が多分私は来られるだろうと思っているのですけれども、そういう方々が少しでも長く楽しんでいただける、釣り人に対する軽食といえますか、軽食の飲み物、食べ物などの提供をしっかり考えて、港で釣りを中心にくつろいでいただけないかなど。これ提案でございますけれども、この点についてのお考えをお聞きしたいと思います。

3点目でありますけれども、12日の報道では、貿易の輸出入の減少が続いているということが報道されておりますけれども、原課としての認識、または今後の対応などをお聞かせ願えればなと思います。

そして、最後に4点目でありますけれども、9月の月上旬に試験的にRORO船が寄港したとのこと、そのときの状況と、今後のRORO船定期航路開設なども含めて、見通しなどをお聞かせをいただきたいと思います。

この4点であります。

○副議長（牧田俊之君） 答弁を求めます。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者（佐々木秀郎君） 私からは、今の池田議員の御質問のうち3点目、貿易の輸出入の減少に対する我々の認識と対策についてお答えをさせていただきたいと思います。

今月12日の報道では、函館税関苫小牧税関支署によりまして、輸出入額に対する貿易概況が発表されております。管理組合としましては、貿易額の数値そのものは直接収集しているわけではございません。

一方、貨物量に関して、コンテナの個数を除いた港湾統計のデータ、これは我々が収集しているのですが、これにつきましては、各企業から4月分までのものしか現在のところ我々のもとには届いておりません。その4月以降につきましては、我々も関係者にヒアリングをするとか、報道の情報を集めるなどして、状況について確認をしているところでございます。

そのうち、輸出入貨物の動向につきましては、輸出については、コロナの影響によります世界的な経済活動の低迷によりまして、紙・パルプ、自動車部品の減少、それから中国のバイヤーが来道できずに買い付けができないことによって、ホタテの輸出の減少、それから、今年の1月の日本製紙勇払工場の停止に伴いまして紙製品の輸出といったものの減少がずっと続いていると、このように認識をしているところでございます。

一方で輸入につきましては、6月中旬から9月上旬に行われました出光興産のほうで大規模なシャットダウンメンテナンスが行われまして、この関係で原油の輸入がストップしたことが非常に大きく影響しているものと考えております。また、毎年春先から夏にかけて横浜港経由で輸入されておりましたアラスカ産のニシン、これがコロナの影響により冷凍加工会社が従業員を確保

できずに操業停止になったこと、これはカナダのほうですね。それで減少があると認識をしています。

また、これまで船会社等へのヒアリングにより確認しましたところ、春先に落ち込みました自動車部品の輸出は、夏頃から回復傾向にあると伺っております。

港湾管理者といたしましては、引き続き今後の貨物動向について注視するとともに、所要の対策について検討をしてみたいと考えております。

以上です。

○副議長（牧田俊之君） 総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） 私からは、ガントリークレーンの故障に関連しまして、荷役への支障について、それと東港区と勇払マリーナの釣り場についてお答えをさせていただきます。

初めに、ガントリークレーンの故障による荷役への支障についてお尋ねがございました。

本年9月20日に発生いたしましたガントリークレーン3号機の故障に伴い、そのときに荷役中であったコンテナ船1隻が当日の荷役を中止し、翌朝に係留位置を変更して別のガントリークレーンを使用して荷役を行った結果、出港時間に約16時間の遅れが生じました。

また、この3号機の稼働停止により、寄港順の変更や半日程度の遅延が生じるなど、船会社を含め関係者へ御迷惑をおかけいたしました。スケジュール調整などの協力をしていただき、大きな支障には至らなかったと考えております。

続きまして、東港区と勇払マリーナの釣り場のその後の具体策についてのお尋ねがございました。

東港区内防波堤の釣り場につきましては、9月27日に日本釣振興会の会員を中心に約80名が参加し、試験開放を行っております。当日は、現地に浮き輪や縄ばしご、救命ボート、監視員を実際に配置し、当管理組合の職員や海上保安署の職員立会いのもと、運営主体となる日本釣振興会が安全対策を重点的に確認しております。

試験開放時の具体的な釣果につきましては、ソイやアブラコなどの根魚は少なかったものの、サバやメバルはそれぞれ80匹以上釣れておまして、日本釣振興会や当管理組合としても、釣りの初心者や家族連れなどの利用者に気軽に楽しんでいただけないかと考えております。

施設の規模等については、日本釣振興会によりますと、今のところ駐車場は80台から100台程度を見込んでいるほか、移動式の管理棟やトイレの設置等を計画しており、営業期間は当面の間、3月から11月の土日祝日、時間は日の出から日没までを想定しております。

安全対策等の詳細につきましては、今後、日本釣振興会と当管理組合が事務局を務める「苫小牧港海釣り施設協議会」に諮りながら決定してまいります。

また、勇払マリーナの釣り場につきましては、指定管理者の自主事業として計画されているものでありますが、今月の19日から仮設の浮棧橋の設置を進めており、今後放流した魚の生存確認を行うなど、来年の開業を目指し準備を進めていると聞いております。

管理組合といたしましても、こうした指定管理者の取組に対し、可能な限りの協力をしてまいりたいと考えております。

また、軽食などの提供についてお尋ねがございました。

今回の東港区の防波堤、そして勇払マリーナの釣り場、両方におきまして利用客の利便性なども考慮し、飲み物ですとか軽食を提供する方向で検討を進めていると聞いております。

私からは、以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） 施設部長、道脇正則君。

○施設部長（道脇正則君） 私からは、「ガントリークレーンの故障について」のうち、部品のストック等について、それから、RORO船の寄港についてお答えします。

まず、ガントリークレーンの故障の内容と部品のストックについてでございますが、ガントリークレーン3号機の故障の内容につきましては、コンテナをつかんで吊り上げますスプレッドという装置がございまして、そこへ電力を供給する給電ケーブルがあります。そのケーブルを巻き取る装置がございまして、その中にある減速機という機械から油漏れがございまして、その油がブレーキの部分に浸入していったら、その結果、ケーブルの制動時に偏差異常、偏差異常というのは今言った給電ケーブルと、その周りにスプレッドを吊り上げるケーブルがございまして、そのケーブルの長さに差が生じるということが、それが偏差異常としておりますが、そういうことが発生しましてスプレッドが自動停止したものでございます。

また、ガントリークレーンの予備品につきましては、平成28年度に、故障する頻度や故障してから調達に長期間を要することを考慮した予備品リストの作成に着手しまして、昨年度までにこのリストにある部品の購入を終えたところでございます。

今回の故障箇所につきましては、これまでに故障したことがなく、仮に部品交換が必要となった場合でも、その調達に必要な期間が短いことから、予備品の対象としてはいないものでございます。

次に、RORO船の輸送試験の状況と今後の見通しについてでございますが、このたびの岩手県釜石港から苫小牧港向けの輸送試験につきましては、釜石港から苫小牧港に貨物を輸送したいという荷主がございましたため、釜石市及び釜石港湾振興協議会が京浜港と苫小牧港を結ぶ既存のRORO航路の途中寄港という位置づけで実施したものでございます。

この輸送試験は、勇払ふ頭で荷役を行うプリンス海運のRORO船を利用して、シャーシ貨物を運搬するといったトライアル輸送でございまして、1回目となります9月1日には、仙台港から釜石港に空のシャーシを輸送し、2回目となります9月8日には釜石港から苫小牧港に実入りのシャーシ6台を輸送したところでございます。

この輸送試験の結果を踏まえまして、今後の見通しにつきましてはですが、現在のところ、特に具体的な情報はございませんで、近々での新たな航路開設の可能性というものは低いのではないかと考えているところでございます。

私からは、以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） 池田謙次君。

○議員（池田謙次君） ありがとうございます。

それでは、すみません、何点か、ほとんど確認でありますけれども、教えていただきたいと思
います。

まず、2番目の東港、勇払マリーナの釣り堀の件でありますけれども、今の御答弁の中で、ち
よっと気になったといいますか、移動式の管理棟やトイレということの御答弁がありましたけれ
ども、これちょっと管理棟とかそういうものが全部移動式といいますか、どんなイメージなのか、
もうちょっと具体的に、もしわかれば教えていただきたいのと、2点目に提案させてもらいま
した軽食など、何か今のは大変前向きな検討を進めているということでもありますけれども、これに
ついて、例えば移動式なのか固定式なのか、例えばこんなものも何か考えているみたいだとい
う情報がございましたら、ぜひ釣り人にとっては大変朗報なことでもありますので、お教えいただ
ければと思います。

それと、最初に御答弁ありました輸出入減についてでありますけれども、先ほど副管のほうか
ら、コロナについての影響という話の答弁がございましたけれども、今の状況の中で、誰もがコ
ロナがどうなるか、落ちつくのか、また、2波、3波、4波、どういうふうになるのかわかりま
せんけれども、今のようなこのコロナの状況について、見通せない状況の中であれば、現状ず
っと輸出入が下がり続けておりますけれども、原課としての認識としては、いや、このまま横ばい
で行くと見ているのか、いやいや、どこかの時点で上がるんじゃないと、どういう認識を持っ
ているのかお答えをいただければと思います。

最後でございますけれども、RORO船について、一市民としては大変期待はしているお話だ
なと思っていたのですが、今の御答弁であれば、航路開設の可能性は低いものという御答弁であ
りますけれども、これについては、ほとんど可能性がないのか、やりようによっては新たな道が
開けるとい認識でいいのか、最後にわかる範囲で御答弁いただければと思います。

○副議長（牧田俊之君） 答弁を求めます。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者（佐々木秀郎君） 私のほうからは、輸出入に係る認識のお話と、それから
RORO船の新規航路についての認識、この2点について回答させていただきたいと思
います。

まず、輸出入について、結局このコロナの状況を今後踏まえて、どういう見解でいるのかとい
う御質問だと思いますが、なかなかわからないというのが実態です。というのは、コロナの感染
者数とかいろいろな状況が広がることそのものが、直接すぐに港湾貨物、輸出入貨物にそれがそ
のままダイレクトに結びついているものではありません。例えばコロナのこの影響の中で、もち
ろん輸出入以外でも減ってきてしまっている荷物、ただ、旅客なんかは完全に減っているわけ
ですが、貨物そのものでいうと減っている荷物もあります、もちろん。ただ、逆に増えている貨物

というのがあるわけですね。例えば家の中にいらっしゃるが多くなったために増えているもの、それから宅配便関係のもの、すみません、ちょっと輸出入とは無関係なのですが、ということで、コロナの今後の状況が見通しが立たない上に、さらにコロナの感染の状況が直接貨物量に全て比例関係にあるわけではないということから考えると、なかなかその先を見通すというのは難しいなと思っています。

例えば、かなり輸出入は減ってきたということなのですが、現在、アジアから北米に向けてのコンテナの輸出というのは、過去にないほど多く増えています。もう船の中がスペースが足りないというぐらいですね。そういった意味で、どういうふうはこのコロナの影響がさらに貨物に影響しているかというのは、いろいろわからない点が多いということから、我々としては、もちろんデータを収集するというのと同時に、それから、業界の皆さん方の声に耳を傾けて、小さな変化からでも、それがその先に大きな影響が出てこないかどうか、ずっとアンテナを高くして、その現状を分析し、必要であれば何かの対策を考えていく、これしかないのではないかなというのが私の認識です。

それから、RORO船についてなのですが、残念ながら我々も、実はほとんど先日の試験運航についても、あまり情報は得られていませんでした。ただ、今回行われたのも、全く新たな航路ということではなくて、いろいろ聞いてみますと、もともと入っている航路が1カ所、別の港にも寄ったということなのです。こういった形の運航は、今回やられた船会社さんは、時々実はやっていらっしゃるらしいんですね。今までにも臨時的にちょっと別の港にも寄ってから来るという、基本的なルートは大きくは変わらないのですが、その間で時間的な余裕があった場合に、違う港にも寄るということがあって、今回はその中でも特別に釜石さんのほうの地元が盛り上がっていて、そこでプレスリリースとかをされたために、新聞報道までされたようなのですが、実は我々が知らないうちにも、この船会社さんは時々臨時的に別の港にも寄るということはされていたそうです。そういったことから考えると、今すぐにこの釜石との間で新たなルートといたしますか、もしくは釜石に必ず寄るような航路に変わるということは、ちょっと今の段階では期待がしにくいんじゃないかなと見ているのが認識です。

以上です。

○副議長（牧田俊之君） 総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） それでは、私からは東港区と勇払マリーナの釣り場についての再質問にお答えをさせていただきます。

初めに、東港区の釣り場の移動式の管理棟とトイレについてですけれども、車で牽引する車輪のついた、プレハブに車輪のついたといたしますか、車両で引っ張って移動できるような形のものということで、設置を計画していると聞いております。

それから、軽食などの提供につきましては、東港区のほうにつきましては、先ほどの管理棟やトイレと同様に車で牽引して販売できるような移動販売車みたいな形のことを考えていると聞い

ておりまして、勇払マリーナにつきましては、外にテントを張って軽食などの提供を計画していると聞いております。

以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） 以上で、池田謙次君の一般質問を終了いたします。

富岡 隆君。

○議員（富岡 隆君） それでは、私からは3点について質問いたします。

1点目は、ガントリークレーン3号機の故障について、2つ目は、大型冷凍冷蔵倉庫の利用状況等について、3つ目には、街路灯の設置についてということで質問させていただきます。

まず、1点目、このガントリークレーンの故障についてです。

先ほど池田議員が故障の原因、あるいは支障の問題について質問等がされておりますので、私はその点については触れないで、ダブらないで質問いたします。

それで、この3号機の故障なのですけれども、これ9月20日の11時頃にコンテナをつかむ装置に給電するケーブルが伸びた状態になって自動的に停止したと。これは、先ほど答弁にありましたように、ケーブルと油漏れがブレーキに浸入したと、こういうことになっているわけですが、私たちに報告が来たのは10月1日でした。通常ずっと9月20日以降からこれ稼働できていなかったと私は推測しているのですけれども、なぜこんなに周知が遅れたのか、その公表の遅れについて、どうしてなのか、まず御答弁いただきたいというのが1点目。

それから2点目ですけれども、私はこういう故障というのは、本当にできるだけ未然に防ぐということで、先ほど答弁にもありました予備品、これはリストも公表しながらいろいろ何か故障があったときには取り替えることができるということで、そういう努力もして点検業務を行ってきているということで、そういう意味では、本当に故障をできるだけ起きないように、未然に防ぐということで、何とか稼働できるようにという考えでいるわけです。その上でちょっと質問したいのですけれども、原課からも資料をいただきました。故障、この直近で故障がなかったのかどうかということでもいただいたところ、昨年9月にも、6月にも故障がありました。これは今回と違いますけれども、これはコンバーター、伝送装置ですか、この異常が検出されまして、結局中身は電気室のコンバーター、コンデンサーと言われておりますが、この破損で基盤のショートを起こして、実際には8日間稼働できなかつたと、こういうふうになっております。

それで、同じ3号機ですので、ほかの1号機も2号機も当然これまで故障はあったと思いますけれども、この異常が検出されて、今回もまた故障が起きたということで、今後、点検業務も含めて検討する必要があるのではないかと、検証ですか。今回は初めての違う所で起きたものであります。私は、本当に大丈夫なのかなという心配しているわけですが、ここらについての考え方をお伺いしたいと思います。

次に、大型冷凍冷蔵倉庫の利用状況についてお伺いいたします。

今年の5月から供用が開始されました。特に道産の食品の輸出の拡大が非常に期待されている。

それから、苫小牧港としても輸出促進計画、こういうものをつくっているわけですが、この農水産物の輸出含めて、屋根付きの岸壁が整備されたら地元産の水産品の輸出の拡大も大いに期待されていると考えます。

そこで、現在、私は視察といいますか、行ってきました。本当に立派な倉庫でした。今の稼働状況、今後の見込みも含めて、どうなっているのかお聞きしたいと思います。

次に、今回の大型冷凍冷蔵倉庫の施設は、津波一時避難の指定となっております。協定も苫小牧市としても結ばれております。それで、いつ本当に大きな地震が来て、災害が起きるかもわかりません。本当に全国では毎日のように地震が起きております。そういう点で、この災害時を想定した避難訓練の実施について、どのように考えているのか、報告も聞いていると思いますけれども、それについての考え方についてお聞きしたいと思います。

それから次に、最後に勇払マリーナの道路照明についてお聞きいたします。

先ほど池田議員も釣り堀の話でいろいろ質疑がありました。マリーナの釣り堀の件も質問されておったわけですが、昨年このマリーナの通りの道路照明、これが消えまして真っ暗になって、不点灯になったということで、昨年復旧工事も行なって改善したというか、ちゃんとつくようにしたのですが、ところがまた今年、昨年と同様、道路照明が消えて真っ暗になったと、不点灯の状態が続いています。ずっと続いているわけで、この状態、これはやっぱり、私もマリーナの利用者からも地域の住民からも、直ちに改善してほしいと、復旧してほしいということです。そういう声が寄せられております。なぜこういう状況が続いているのか、いつまでに復旧しようと考えているのか、お伺いしたいと思います。

以上で、私の質問は終わります。

○副議長（牧田俊之君） 答弁を求めます。

総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） では、私からは、大型冷凍冷蔵倉庫の利用状況等についてお答えをさせていただきます。

初めに、大型冷凍冷蔵倉庫の稼働状況と今後の見込みについてのお尋ねがございました。

本年5月から営業を開始しました温度管理型冷凍冷蔵倉庫「北海道クールロジスティクスプレイス」は、さまざまな温度帯への対応や高い鮮度保持機能を有するなど、その先進的機能により苫小牧港における「食」の新たな物流拠点の形成と、食産業の高付加価値化、道産品の輸出拡大などに大変期待されているところでございます。

倉庫関係者によりますと、現在の稼働状況は、乳製品や食肉、水産品、道内野菜が保管されており、その収容率は3割ほどと伺っております。

今後は、収穫期であるジャガイモやタマネギの入庫が増えることが見込まれており、年内には、ほぼ満床となる見込みと伺っております。

続きまして、津波発生時を想定した避難訓練についてのお尋ねがございました。

本年8月28日に、大型冷凍冷蔵倉庫の施設所有者である北海道クールロジスティクスプレイス株式会社及び運営主体であります苫小牧埠頭株式会社と苫小牧市が、津波一時避難施設として施設の使用に関する協定を締結しております。

倉庫が備えている機能につきましては、津波警報発表時には周辺にアナウンスが流れるほか、2カ所の入り口においてライトが点滅し、倉庫内の階段に避難誘導するようになっているなど、最大1,700人が避難できる施設となっております。

避難訓練につきましては、本年11月5日の津波防災の日にならみまして実施を予定しております。この避難訓練につきましては、苫小牧港外貿コンテナ事業協同組合を初めとする港湾関係者のほか、当管理組合と苫小牧市が参加し、コンテナターミナルの岸壁南側から一時避難施設までの区間において実施する予定でございます。当日は、ターミナルに設置しております津波サイレンを開始の合図とし、徒歩により一時避難施設であるこの北海道クールロジスティクスプレイスまでの時間を計測し、今後の避難行動への参考とすることや、避難施設入り口までの経路を確認する予定となっております。

私からは、以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） 施設部長、道脇正則君。

○施設部長（道脇正則君） 私から、ガントリークレーンの故障の件と勇払マリーナの道路照明についてお答えします。

まず、今回の故障における発表の時期についてでございます。

これまで発生しましたガントリークレーンの故障は、比較的短期間で復旧可能なものもあれば、長期間要するものもございまして、その程度はさまざまでございます。

当管理組合としましては、ガントリークレーンの故障により、稼働停止に伴うサービス提供がおおむね1週間以上と想定される場合には、故障の公表を行ってまいりました。今回の故障につきましては、9月20日の異常発生後、直ちに保守点検業者に加えまして、クレーンの製造会社及び電気系の製造会社の技術者を呼び寄せまして、原因究明に着手いたしました。

これまでの類似事例から当初は電気系統に異常があると疑いまして、1週間程度で復旧できると見込みまして調査を進めましたが、異常は結果的に発見できませんでした。続きまして、周辺機器の機械系統の追加調査を進めたところ、給電ケーブルの巻き取り装置内に油漏れの異常が発見され、補修には時間を要することが判明いたしました。このように故障箇所や復旧方法の特定に時間を要したことから、結果的に10月1日に公表することとなった次第でございます。

続きまして、ガントリークレーンの今後の対策等でございますが、今回故障が生じた装置は、3号機がほかの1号機、2号機に比べて大型でありまして、コンテナを吊り上げる高低差が大きいことから、ケーブルのスムーズな巻き取り動作を行う目的で3号機のみにも備わっているものでございます。

3号機は、整備以来8年経過しておりますけれども、今回と同様の故障はこれまで発生してい

なかったところでございます。また、ガントリークレーンの点検につきましては、これまでも法令点検である月例点検、年次点検のほか、週例点検も実施しまして、不具合を発見した際は補修を行ってきたところでございます。

しかし、今回の故障箇所についても、直近の9月に実施した月例点検においては、外観目視や動作の確認などを行いましたが、異常は確認されなかったところでございます。

今回の不具合の原因がケーブル巻き取り装置内部での油漏れであったため、この事象をこれまでの点検で未然に防ぐことは難しいものと考えておりますが、今後の対策といたしましては、故障の再発防止に向けて、その点検方法について検討してまいりたいと考えております。

続きまして、最後に勇払マリーナ道路照明の復旧の見込みについてのお尋ねですが、昨年も当該道路照明が不点灯となりまして、その際、12灯のうち8灯で灯具とか安定器、あるいはブレーカーの損傷が確認されましたことから、同年11月に各部品を交換し復旧しておりましたが、今年になりまして、今年の7月に再度不点灯の状況となりました。このことから詳細な原因調査を行ってきたところでございます。

その結果、今年の9月に、この原因は照明灯内部が空洞構造であるために、寒暖差によって発生した結露などによりまして、機器内部の各種電気部品が損傷し、接続されて同一系統となっています道路照明12灯全てに影響しているということがわかりました。このため、現在、早期復旧と再発防止に向けた具体的な補修方法を検討しているところでございます。

復旧の見込みにつきましては、年内を目途に復旧したいと考えており、復旧時期が決まり次第、勇払マリーナ利用者や地域の皆様へお知らせしてまいりたいと考えております。

私からは、以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） 富岡 隆君。

○議員（富岡 隆君） それでは、最後のほうから、マリーナの道路照明についてお伺いいたしますけれども、これ今補修方法を検討していると、年内検討したいということなのですが、これぜひ直ちに早期にやってほしいのですけれども、この補修方法というのは、今現在どういう方法であればいいという、そういう中身については具体的に何かわかったものがあるのでしょうか、あれば教えていただきたいというのが1つ目です。

それから次に、大型冷凍冷蔵倉庫の利用状況なのなのですが、年内満杯になるということでもわかりました。大変期待が大きいものですから、ぜひ本当に苫小牧市の港としても非常に大きいものだとも思います。

それで、避難訓練の関係、1点だけお聞きしますが、これ11月にやるということなのですが、これどのぐらいの規模で取り組もうとされているのか、これは今やっぱりコロナ禍のもとでやりますので、大勢でやるとはならないと思いますが、そこら辺のところについてもお伺いしておきます。

最後に、ガントリークレーンの問題ですけれども、周知の方法、公表の仕方の問題なのですけ

れども、故障の問題は短期間、長期間あるということを言いながら、1週間以上のものについては公表すると、こういうような答弁だったかなと思っけていますけれども、これそういうふうに見ていたけれども、実際の原因は違っていたということで公表が遅れたとなりますけれども、事実上これ2基体制で9月20日以降ずっとやっていたわけですが、この公表の仕方について、私はもう少し検討して、やはり荷役の遅れも生じないように含めて、私は検討すべきではないかと思っけていますけれども、原課では今どのような検討がされているのか。私も10月1日に聞いたものですから、今説明を受けてわかったのですけれども、そこら辺について、私は改善すべき余地があるのではないかと思っけていますので、ぜひお答えいただきたいと思っけています。

それから、故障の関係ですが、今回は新しいところと、目視で外観点検したけれども、何も問題なかったということなのですが、具体的にどのような点検方法を考っているのか、今回の故障が起きたということから、一定の考え方、私は定まっていると思っけていますけれども、ここら辺についての考え方を聞いて、私の質問は終わります。

○副議長（牧田俊之君） 答弁を求めます。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者（佐々木秀郎君） 私からは、ガントリーの2つの再質問についてお答えをさせていただきます。

まず、ガントリーが故障した際の公表のタイミング、まず、そもそも公表の問題以前に、なるべく故障をさせない。ただ、どうしてもこれは物すごい、1万点を超えるような非常にたくさんの部品から出来上がっているものなので、故障を全くゼロにするということはなかなか難しいと思っけています。ただ、我々としては、これまでも故障をなるべく予防するという観点、それから、仮に起きてしまったとしても、早期にそれを修理することができるように、先ほども答弁をさせていただきましたが、ストック部品の確保、これもかなり拡充をまいりました。そういった形で、なるべく止める期間、ガントリーのサービスができない期間をどれだけ短くすることができるか、これがまず我々に課せられた最初が一番大事な使命だろうと思っけてはいます。

次に、それでもどうしても故障が起きてしまったときに、どこまでこれをどういうタイミングで皆さん方に公表していくのかという問題につきましては、実は他港での事例等も踏まえて考えると、本当に今我々はとりあえず1週間という我々自身で決めた一つの基準で公表させていただいているのですが、必ずしもどんどん公表すればいいかというと、実際利用していただいている船会社さんからも、なぜ苦小牧港さんはわざわざ不利になることをこうやって公表されるのかというようなことを言われたこともあります。そういったことを考えると、あと、メンテナンス等で、実際には1週間、場合によると1か月近く稼働を止めてメンテナンスするということもある。それから、今、3基目に加えて4基目の導入も進めてきているというようなことから考えると、もう少し、わざわざこちらのほうからあまりよくない評判が、随分苦小牧港は故障が多いのですねというようなことを自ら宣伝するようなことが本当にいいのかどうか、ちょっと疑問に

思っているところもございます。そういった意味で、故障して稼働できなかつたときにどこまで公表するのかという件に関しましては、もう少し考えていきたいなと思っているのが実態でございます。

それからもう一つ、今回なかなか故障の箇所を発見できなかった件、これから、じゃ、これについてどういうふうな点検を行っていくかという点に関しましては、まず、我々は基準ですとか、それからガイドラインに従いまして、日常点検、それから週次、1週間に一遍の点検、それから年次点検とこういうふうな、一番大きい点検が1年に1回の点検です。それからもう一つは、ガントリークレーンの耐用年数に近いぐらい使った、15年から20年今後も使えるかどうかということを確認するための点検というものが一つ、ガイドライン等に示されています。

ただ、今回の実際の故障箇所は、年次点検レベルではふだんは点検をしなくてもいいとなっている箇所なわけです。ということもあって、これまで発見できなかったのですが、今我々のほうで考えているのは、部品によっては、やはり年次でもなく、15年に一遍でもなく5年程度の、数年に1回程度は実際にふだん見れないところを開けてチェックをするとか、そういった考え方を導入していく必要があるのではないかと。今回の故障を踏まえて今そういったことも視野に入れて、全ての部品というわけにはいかないのですが、そこを必要な、そういった数年に一遍の点検といったものが必要な部品がどの程度あるのか、そして、それが実際できる範囲なのかというようなところを今後検討していきたいと、このように考えています。

以上です。

○副議長（牧田俊之君） 総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） 私からは、大型冷凍冷蔵倉庫を活用した避難訓練についてお答えをさせていただきます。

本来、このコンテナターミナルでの避難訓練、対象者というのは、オペレーターですとか作業員、トラックドライバーなどを含めると、大体270人ぐらいがコンテナターミナルの中で作業をしている総人数となります。今回につきましては、この新型コロナウイルス感染症という部分を考慮しまして、約20名という形で今回は執り行う予定であります。

内訳といたしましては、この苫小牧港外貿コンテナ事業協同組合を構成する5社から2名ずつで10名、それから、苫小牧港外貿コンテナ事業協同組合の職員が3名、苫小牧市から2名、当管理組合から3名で、約20名で実施というような形で今回は考えております。

その上で、今回のこの訓練について、終了後さまざまな検証等を行い、より実効性のある避難計画とするため、今後も適宜訓練を続けてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○副議長（牧田俊之君） 施設部長、道脇正則君。

○施設部長（道脇正則君） 私から、勇払マリーナの道路照明の再質問についてお答えします。

今検討中なのですがけれども、照明灯の照明柱の中に空洞があつて、そこで結露ということなの

で、電氣的な技術屋さんとも相談中なのですが、一つは照明柱の中の電気装置、例えばさっき言った灯具、安定器、ブレーカーと言いましたが、その安定器とかブレーカーとかの装置は支柱の中にあると思うので、そういうところの部材を防水性の何かコーティングできるような部材で包んで、結露が起きても不具合が起きにくくなるようなものというようなことを検討しているところでございます。今のところ、その検討をしております。

私からは、以上です。

○副議長（牧田俊之君） 以上で、富岡 隆君の一般質問を終了いたします。

以上をもって、一般質問は全て終了いたしました。

○議員提案第1号 苫小牧港管理組合議会議員の派遣について

○副議長（牧田俊之君） 次に、日程第7、議員提案第1号「苫小牧港管理組合議会議員の派遣について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本件につきましては、提案説明を省略し、直ちに表決に付したいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） 御異議なしと認めます。

それでは、議員提案第1号についてお諮りいたします。

議員提案第1号を原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（牧田俊之君） 御異議なしと認めます。

よって、議員提案第1号は、原案のとおり可決されました。

○閉会

○副議長（牧田俊之君） 以上をもちまして、本議会に付議された案件は全て議了いたしました。

閉会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

本議会に付議されました案件は、報告1件、議案2件、議員提案1件であります。皆様方の御協力により滞りなく議了いたしましたことに、議長として厚く御礼を申し上げますとともに、議員各位の熱心な御審議を得ましたことに重ねて御礼を申し上げます。

これをもちまして、令和2年第3回定例会を閉会いたします。

御苦勞さまでございました。

（了）

午後2時38分 閉会

上記のとおり会議の次第を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

苫小牧港管理組合

副議長	牧	田	俊	之
署名議員	太	田	憲	之
署名議員	沖	田	清	志